

「七十七ビジネス大賞」「七十七ニュービジネス助成金」受賞企業紹介

第7回 「七十七ニュービジネス助成金」受賞企業（平成16年度）



株式会社プラスヴォイス 代表取締役社長 三浦 宏之 氏

住所 : 仙台市青葉区中央1丁目3番1号 AER8F
設立年 : 平成10年
業種 : 福祉サポート事業
資本金 : 11百万円
従業員 : 7名
URL : <http://www.plusvoice.co.jp>

「IT福祉社会の実現に向け、視聴覚障害者のコミュニケーションバリアを解消する「テレビ電話受付システム」を開発

事業の概要

当社が独自に開発したテレビ電話受付システムを利用して、企業等の窓口や視聴覚障害者の自宅とコールセンターをつなげ、手話通訳者等のサポーターが手話・筆談・音声による説明、情報提供を行い、視聴覚障害者のコミュニケーションを仲介するサービスを提供している。一般企業や公共機関への導入を積極的に営業展開中である。



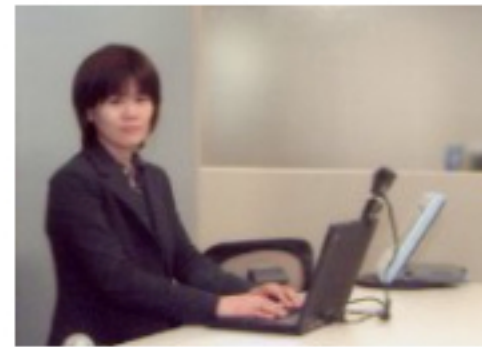
本社のあるアエル



社内風景

受賞の理由

福祉分野において様々なIT通信技術を活用して、視聴覚障害者の生活課題である他者とのコミュニケーションバリアの解消を目指している。本事業は、テレビ電話を利用したコールセンター事業により、情報弱者といわれる視聴覚障害者に対するバリアフリーなサービスを提供するというものであり、その斬新性、独創性は高く評価できる。



テレビ電話

この遠隔手話通訳・サポート事業を通じて、視聴覚障害者にとってのコミュニケーションという日常の課題を解決するとともに、障害者の社会参加と自立を促進し、また生活の充実・満足度の向上に寄与することも評価できる。

他社との明確な差別化を図る観点から、専門的な技術・知識を兼ね備えた手話通訳者を育成することでサポート対応能力の向上に取り組んでおり、当社へのアウトソースや人材派遣のニーズは高い。KDDI株式会社（au関東地区16店舗）やNTT東北病院などでサービスが開始されており、利用者から絶大な支持を得ている。今後は、行政や民間企業の窓口、サービスセンターなどでサービス導入が見込まれる。

さらにNTTME東北と共同で聴覚障害者のために、パソコンでのトラブル解決や円滑な手続きのサポートも開始している。今後は、障害者向けのサービスとして手話がわからない聴覚障害者のための遠隔筆談、視覚障害者が歩行する際の遠隔サポート、そして災害時における情報受信サポートに加えて、外国人のための遠隔通訳、寝たきりの高齢者に対する日常生活の遠隔サポートなど業務の多様な広がりも期待される。



聴覚障害者用福祉機器

これからの高齢化社会の進展するなかで、「IT福祉社会」の実現に向け常識にとられない自由な発想で、幅広いアイデアとノウハウの活用により新しい価値を創造し、顧客にソリューションを提供し続けることが大いに期待される企業である。



手話通訳者



● ご商談等につきましては、掲載企業に直接お問い合わせ下さい。

▶ BACK